～郡山市制～ 100年のあゆみ

1924年９月１日の市制施行から100年の節目を迎えた郡山市。自然に恵まれ、商業・工業・農業や交通など多方面で大きな発展を遂げてきました。大正・昭和・平成・令和とあゆみを進めてきた100年の軌跡を振り返ります。

市ウェブサイトでは、さらに詳しく本市のあゆみを紹介しています。

郡山公会堂（1924年）
郡山市の市制施行を記念して1924年に建設。当時は、洋館（右）と和室（左）の２棟が結ばれていました。洋館はネオ・ルネサンス様式を基調としたモダンな外観で、開拓の意気込みが壮麗に表現されています。

大正

- **1924年** **9月1日小原田村を合併、全国99番目の市として誕生、郡山公会堂建設**

昭和

- **1930年** **郡山市役所新庁舎竣工**、市章制定
- 1934年 水郡線（郡山～水戸間）全線開通
- 1935年 国勢調査で人口5万4千709人（県下一）
- 1945年 **郡山空襲**・終戦
- 1946年 戦災復興都市指定
- 1951年 小学校完全給食実施、**郡山駅舎改築**
- 1952年 第7回国体が宮城・山形・福島で同時開催（郡山会場も有）
- 1954年 郡山市民の歌が完成
- 1957年 国道4号（郡山～須賀川間）開通、第1回萩姫まつり・第1回市民総合美術展開催
- 1964年 国から新産業都市指定
- 1965年 第1回うねめまつり・第1回湖まつり開催、安積郡9カ町村・田村郡3カ町村合併
- 1966年 第1回こどもまつり開催
- 1974年 総合体育館開館、市の花木鳥を制定
- 1977年 **安積高校旧本館が国の重要有形文化財に指定**
- 1981年 郡山市図書館が開館
- 1982年 東北新幹線開通
- 1983年 安積疏水通水100周年記念式典開催
- 1984年 人口30万人突破、市民文化センター開館、郡山南ＩＣ開通
- 1986年 8・5水害、郡山地域テクノポリス指定

※太字部分は写真でも紹介しています

郡山駅舎改築（1951年）
東北本線など鉄道が開通し、交通網が発展していた中で、郡山駅舎は戦時中に３度の空襲を受けました。大改築は、郡山の玄関口として復活を遂げる一歩となりました。

旧郡山市役所（現 県郡山合同庁舎）（1930年）
左右対称な外観で中央に塔屋があり、当時の官庁施設の王道とも言える様式で建築されました。現在は、福島県の郡山合同庁舎として当時の建物のまま利用されています。

安積高校旧本館(現 安積歴史博物館)（1977年）
明治時代の洋風建築遺構で、国の重要文化財に指定されました。現在は、博物館として一般公開していますが、他にもテレビドラマのロケ地としても使用されています。

空襲を受けた郡山市街地（1945年）
太平洋戦争末期、軍需関連の工場が集まっていた本市は、米軍による大規模空襲の標的となりました。空襲による犠牲者は400人以上にのぼり、甚大な被害を受けました。

「がくとくん」誕生（2010年）
楽都郡山を連想する音符や、米どころ郡山を表す稲穂をワンポイントに、本市のイメージキャラクターとして誕生。翌年には、妹のおんぷちゃんも誕生しました。

東日本大震災（2011年）
平穏な生活を突如襲った大地震。建物の倒壊や断水でライフラインが途絶えながらも、市民が一体となってまちの復興に取り組み、一歩一歩日常を取り戻してきました。

中核市移行（1997年）
中核市への移行により、県が行う事務が市へ移譲されたほか、保健所が設置されるなど、市民サービスの向上や、地域の特性を生かしたまちづくりに大きな期待が寄せられました。

ビッグアイ・市民プラザオープン（2001年）
21世紀の郡山の顔として郡山駅西口に建設されました。行政窓口や会議室などがある「市民プラザ」も同施設内に開設され、市民生活の利便性向上に寄与しています。

令和

- **2022年** 市制施行100周年、開成山公園リニューアルオープン
- **2024年** **9月1日小原田村を合併、全国99番目の市として誕生、郡山公会堂建設**

平成

- **1989年** 郡山カルチャーパーク・郡山ユラックス熱海オープン
- **1990年** 磐越自動車道（郡山～磐梯熱海間）開通
- **1992年** 開拓者の群像完成、市立美術館オープン
- **1995年** 石筵ふれあい牧場オープン、ふくしま国体開催
- **1997年** **中核市移行**、市保健所開所、人口33万人突破
- **2001年** 郡山駅西口再開発事業竣工、**ビッグアイ・市民プラザオープン**
- **2003年** 21世紀記念公園麓山の杜オープン
- **2004年** 郡山公会堂大規模改修、台風23号豪雨災害
- **2008年** 音楽都市宣言
- **2009年** ニコニコこども館・大安場史跡公園オープン
- **2010年** **市イメージキャラクター「がくとくん」誕生**
- **2011年** **東日本大震災**、がくとくんの妹「おんぷちゃん」誕生、ペップキッズこおりやまオープン
- **2012年** ミューカルがくと館オープン
- **2014年** **郡山ナンバー運用開始**
- **2016年** 「一本の水路」ストーリー日本遺産認定
- **2017年** 開成山屋内水泳場オープン、郡山富田駅開業
- **2018年** **セーフコミュニティ国際認証取得**
- **2019年** **SDGs未来都市に選定**、こおりやま広域連携中枢都市圏の形成、**郡山中央スマートＩＣ開通**
- **2022年** 「ベビーファースト運動」活動宣言

SDGs未来都市に選定（2019年）
SDGsの目標達成に向け、優れた取り組みを行う都市として、県内で初めて選定。東北初となる「自治体SDGsモデル都市」にも選定されるなど、先進的な取り組みが評価されています。

郡山ナンバー運用開始（2014年）
今では馴染みのある郡山ナンバー。これまで、郡山市で登録した車は「福島」と登録されていましたが、ご当地ナンバーとして運用が始まったことで市内へ普及しました。

郡山中央スマート IC開通（2019年）
東北自動車道（郡山南IC～郡山IC間）に ETC専用のインターチェンジとして開通。市街地へのアクセスが向上し、災害時の物資輸送などが円滑に進むようになりました。

セーフコミュニティ国際認証取得（2018年）
市民、団体、行政などが協働で、けがや事故を予防し安全安心なまちを目指す取り組みが評価され、県内初、国内15番目の認証都市となりました。2023年には再認証を取得。